

事業実績(令和元年度)

(1) 管理運営事業

ア 施設維持管理業務

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、またセンターの3つの機能(情報機能、自立促進機能、交流機能)を十分発揮できるよう、適正かつ効果的・効率的な施設の管理・運営に努めた。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、絵本コーナーなど親子で利用できるスペースを設けているほか、研修室や宿泊室の環境整備を行い、利用促進に努めた。

イ 男女共同参画目的利用促進事業

センター主催講座や男女共同参画に関するセミナー等に参加し、宿泊室を利用した方の宿泊料の負担を軽減し、男女共同参画目的での宿泊室利用の促進に努めた。

ウ 原子力災害避難者宿泊料助成事業

原子力災害により避難された方に宿泊料を助成し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援した。

エ 原子力災害避難者指示区域市町村等研修室等使用料免除事業

研修室等の使用料を免除し、原子力災害により避難指示区域とされた市町村の復興に向けた取組を支援した。

施設利用状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

		日数基準				
		可能室数		使用室数		利用率
平成31年4月	研修室	286	室	123	室	43.0%
	宿泊室	506	室	227	室	44.9%
令和元年5月	研修室	297	室	111	室	37.4%
	宿泊室	506	室	204	室	40.3%
令和元年6月	研修室	286	室	175	室	61.2%
	宿泊室	484	室	257	室	53.1%
令和元年7月	研修室	286	室	161	室	56.3%
	宿泊室	484	室	209	室	43.2%
令和元年8月	研修室	297	室	154	室	51.9%
	宿泊室	506	室	285	室	56.3%
令和元年9月	研修室	275	室	179	室	65.1%
	宿泊室	440	室	221	室	50.2%
令和元年10月	研修室	297	室	147	室	49.5%
	宿泊室	506	室	246	室	48.6%
令和元年11月	研修室	286	室	153	室	53.5%
	宿泊室	484	室	311	室	64.3%
令和元年12月	研修室	264	室	111	室	42.0%
	宿泊室	418	室	131	室	31.3%
令和2年1月	研修室	264	室	108	室	40.9%
	宿泊室	440	室	146	室	33.2%
令和2年2月	研修室	275	室	136	室	49.5%
	宿泊室	462	室	108	室	23.4%
令和2年3月	研修室	286	室	88	室	30.8%
	宿泊室	462	室	104	室	22.5%
合計	研修室	3,399	室	1,646	室	48.4%
	宿泊室	5,698	室	2,449	室	43.0%

(2) 情報関連事業

ア 情報事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

(ア) 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内 容	・購入図書・資料の選定 令和元年度購入図書 209冊（うちDVD1点） ・図書・資料の収集、分類、整理 図書等貸出利用者数 延べ 1,689人 図書等貸出冊数 延べ 4,289冊（うちDVD等12点） ・レファレンスサービスなど レファレンスサービス件数 延べ 743件 インターネット利用者数 延べ 408件
-----	--

(イ) 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供した。

内 容	・センターホームページアクセス件数 延べ 160,376件 ・センターメールマガジン配信件数(月1回) 1,024件 (2年3月末現在)
-----	--

(ウ) 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第71号～74号発行 各5,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設などに送付
-----	---

イ 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行った。

地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法について調査・研究を公募し、実施した。

内 容	「福島県の高校生に対するデートDVに関する調査」 研究代表者：安部郁子氏（福島大学人間発達文化学類 特任教授）
-----	--

(3) 自立促進事業

ア 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	<p>男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者と館長とが、意見交換を行った。</p> <p>(1) 未来館トークサロン in 田村 開催日：令和元年9月26日(木) 会 場：田村市役所 内 容：企業における女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。 参加者：5名 共 催：田村市</p> <p>(2) 未来館トークサロン in 南相馬 開催日：令和2年1月24日(金) 会 場：南相馬市労働福祉会館 内 容：企業における女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。 参加者：6名 共 催：南相馬市</p>

事業名	男女間における暴力の防止と被害者支援事業 ※新規
対象者	県民
内 容	<p>県民を対象とし、DVやセクシュアル・ハラスメント、性暴力などの根絶を図るための啓発事業として、講演会を実施した。</p> <p>開催日：令和元年11月16日(土) 講 師：堀 琴美氏(郡山女子大学准教授、放送大学福島学習センター客員准教授) 内 容：講演会「虐待と愛着障害とメディアバイオレンス」 ～なぜ虐待は増え続けるのか～ 参加者：23名 ※放送大学との連携事業として実施</p>

事業名	ダイバーシティ理解促進事業 ※新規
対象者	県民

内 容	<p>性的マイノリティをテーマに、ダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を認める社会の実現を目指した講演会を開催した。</p> <p>開催日：令和元年6月9日（土）</p> <p>参加者：33名</p> <p>内 容：講演会「多様性のある社会へ」 ～LGBTをキーワードにあなたや私にできること～</p> <p>講 師：矢部 文氏（APIレインボウ・ペアレンツ、須賀川市出身）</p>
-----	--

事業名	市町村男女共同参画促進事業 ※新規
対象者	県民
内 容	<p>市町村等が行うイベントにおいて男女共同参画に関するパネル展示を実施したほか、訪問相談等により地域における男女共同参画意識の普及啓発及び市町村男女共同参画計画策定支援を実施した。</p> <p>(パネル展示)</p> <p>○小野町 開催日：令和元年10月26日(土) アンケート回収：122件</p> <p>○湯川村 開催日：令和元年11月3日(日) アンケート回収：61件</p> <p>(訪問相談等)</p> <p>対象：6町村 (小野町、湯川村、浅川町、飯舘村、三春町、国見町)</p>

事業名	キラっ人さん活躍促進事業 ※新規
対象者	県内企業の経営者・管理職等
内 容	<p>女性人材の育成や意識改革、交流を目的としたトークイベント・交流会や、男性の家事・育児・介護への参画を促進するための講演会を開催した。</p> <p>○トークイベント・交流会 開催日：令和元年7月31日（水） 会 場：福島県男女共生センター 参加者：トークイベント183名、交流会67名 内 容：「キラっ人さんと創る元気なふくしま」をテーマに様々な分野で活躍している女性と知事とのトークイベント、交流会を開催</p> <p>(トークイベント) コーディネーター：横田 智史氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北 代表理事）</p>

	<p>出演者：石川 格子氏（東陽電気工事株式会社 代表取締役社長） 小林 味愛氏（株式会社陽と人 代表取締役） 佐々木 まゆみ氏（タカラ印刷株式会社 営業部長 兼伝わるデザイン研究室長） 内堀 雅雄（福島県知事）</p> <p>（交流会）</p> <p>交流会にはコーディネーター・出演者のほか、女性活躍のロールモデルとなるキラっ人さん3名がゲスト出演し、参加者と情報交換や悩みの共有などの交流を図った。</p> <p>○講演会</p> <p>開催日：令和元年11月29日（金） 会 場：ビッグパレットふくしま 参加者：114名 内容： 【講演】経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス 講師：佐々木 常夫氏 （佐々木常夫マネジメント・リサーチ 代表）</p>
--	--

事業名	地域女性活躍推進事業 ※新規
対象者	市町村等
内 容	<p>地域における男女共同参画の取り組みを促進するため、職員をアドバイザーとして派遣し、地域における課題等の抽出や施策に関する助言提案等を実施した。</p> <p>対象：三島町、西郷村、中島村、矢祭町、平田村</p>

事業名	次世代スクールプロジェクト
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。</p> <p>（実施校11校、実施回数29回、参加者1,418名）</p> <p>○連携授業</p> <p>（1）福島県立会津学鳳中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和元年5月31日（金） 参加者：3年生（63名）、教職員（5名） 内 容：性的マイノリティについて 講 師：センター職員 ・第2回 開催日：令和元年11月29日（金）

	<p>参加者：3年生（28名）、教職員（2名） 内容：性別にとらわれない職業選択 講師：センター職員</p> <p>・第3回 開催日：令和2年1月24日（金） 参加者：3年生（53名）、教職員（1名） 内容：性別にとらわれない職業選択 講師：センター職員</p> <p>(2) 福島県立福島南高等学校 開催日：令和元年6月28日（金） 参加者：1、3年生（77名）、教職員（5名） 内容：性的マイノリティについて 講師：センター職員</p> <p>(3) 福島県立福島西高等学校 開催日：令和元年7月3日（水） 参加者：1、2年生（33名）、教職員（2名） 内容：男女共同参画の現状 講師：センター職員</p> <p>(4) 本宮市立和田小学校 開催日：令和元年7月11日（木） 参加者：3、4、5年生（3名）、教職員（3名） 内容：アサーティブコミュニケーション 講師：センター職員</p> <p>(5) 福島市立矢野目小学校 開催日：令和元年10月15日（火） 参加者：5、6年生（123名）、教職員（6名） 内容：男女共同参画とは 講師：センター職員</p> <p>(6) 福島県立郡山北工業高等学校 開催日：令和元年11月12日（火） 参加者：教職員（38名） 内容：ハラスメントについて 講師：センター職員</p> <p>(7) 福島県立安達高等学校</p> <p>・第1回 開催日：令和元年12月10、18日（火、水） 参加者：2年生（156名） 内容：デートDVについて 講師：センター職員</p> <p>・第2回</p>
--	--

	<p>開催日：令和2年2月25、26日（火、水） 参加者：1年生（163名） 内 容：性的マイノリティについて 講 師：センター職員</p> <p>(8) 福島県立会津工業高等学校 開催日：令和元年12月11、12日（水、木） 参加者：3年生（225名）、教職員（11名） 内 容：ハラスメントについて 講 師：センター職員</p> <p>(9) 福島県立磐城農業高等学校 開催日：令和元年12月17日（火） 参加者：1年生（247名）、教職員（13名） 内 容：デートDVについて 講 師：センター職員</p> <p>(10) 福島県立修明高等学校 開催日：令和2年1月31日（金） 参加者：1年生（124名）、教職員（3名） 内 容：男女共同参画について 講 師：センター職員</p> <p>○出前講座 ふれあい合宿すぎのめこども宿（福島市杉妻学習センター） 開催日：令和元年7月25日（木） 参加者：小学5、6年生（30名）、保護者他（4名） 内 容：アサーティブコミュニケーション 講 師：センター職員</p>
--	---

事業名	交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流室ロッカー貸出件数 5件 ・交流展示スペース貸出件数 3件

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>○男女共同参画週間パネル展 男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、イクボス等をテーマとした啓発パネルを展</p>

	示した。 開催日：令和元年6月22日（土）～6月30日（日）
--	-----------------------------------

イ 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。</p> <p>「働き女子のごほうびセミナー～これからも働き続けたい人が知っておくべき5つのこと～」</p> <p>○第1日 開催日：令和元年6月15日（土） 参加者：13名 内 容：「これまでの自分を振り返り、人生100年時代のキャリアを考える」 講 師：星野 雅子氏（女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師）</p> <p>○第2日 開催日：令和元年6月29日（土） 参加者：16名 内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」 講 師：丹羽 麻子氏（NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会認定カウンセラー）</p> <p>○第3日 開催日：令和元年7月13日（土） 参加者：15名 内 容：「パワハラしない・させない アンガーマネジメント」 講 師：岡田 友子氏（アンガーマネジメントコンサルタント、(株)岡田プランニング代表取締役）</p> <p>○第4日 開催日：令和元年7月27日（土） 参加者：14名</p>

	<p>内 容：「後輩を育て、成果を上げるチームをつくる」</p> <p>講 師：なかむら アサミ氏（サイボウズ株式会社チームワーク総研 アドバイザー）</p> <p>○第5日</p> <p>開催日：令和元年8月3日（土）</p> <p>参加者：5名</p> <p>内 容：「先輩働き女子の話を聞く会」</p> <p>ゲスト：佐々木 まゆみ氏（タカラ印刷株式会社営業部長） 庄子 まゆみ氏（南相馬市復興企画部長）</p> <p>コーディネーター：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長）</p>
--	--

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、職場や家庭、地域において男女共同参画の視点による「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援した。</p> <p>○イクボス養成講座</p> <p>開催日：令和元年6月12日（水）</p> <p>会 場：ビッグパレットふくしま 中会議室（A）</p> <p>参加者：62名</p> <p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横田 智史氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北 代表理事、（株）ペンギンエデュケーション代表取締役） <p>【事例発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小貫 聖二氏（医療法人社団三成会 事務長） ・吉原 隆介氏（（株）ヨシハラ 代表取締役社長） <p>【ワークショップ】</p> <p>ケーススタディ：企業における課題解決法を考える</p> <p>○男性のための男女共同参画基礎講座「男性のための料理教室」</p> <p>開催日：令和元年12月7日（土）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>講 師：渡辺 真夏氏 （イタリア料理教室「ブォナ・フォルケッタ」主宰）</p> <p>内 容：男性の家事参画支援を目的とした料理教室</p> <p>参加者：12名</p>

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性（育児・介護などのために離職している女

	性等)
内 容	<p>起業を考えている女性を対象に、起業への心構えやその方法、魅力あるサービスや商品づくり等について学ぶ講座を開催した。</p> <p>開催日：令和元年8月10日（土）</p> <p>会 場：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」</p> <p>参加者：18名</p> <p>共 催：会津若松市</p> <p>内 容：</p> <p>○講義「『チャレンジしたい』その夢を叶えるために」 講師：重巢 敦子氏（キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社代表取締役、東北起業女性応援ネットワーク事務局）</p> <p>○女性起業家紹介 女性起業家（ものづくりや美容・健康増進など業種別で4名）の起業までの経緯や現在の事業説明等を行った。 ※コーディネーター：重巢 敦子氏</p> <p>○テーブルセッション（グループトーク） 女性起業家と参加者として、起業や運営等に関することについて意見交換を行った。</p> <p>○まとめ・振り返り 事業のまとめ等を行った。</p>

事業名	教師のための次世代育成成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。</p> <p>開催日：令和元年8月2日（金）</p> <p>参加者：12名</p> <p>内 容</p> <p>○講義1「学校における男女共同参画」 講師：福島県男女共生センター 主査 櫛田 みゆき</p> <p>○講義2「公開授業実施の目的と授業づくりのポイント」 講師：鈴木 砂代子氏（福島県教育委員会高校教育課指導主事）</p> <p><午後の部></p> <p>○講話1・2「公開授業実施から見えたこと、伝えたいこと」 講師1：富田 誠吾氏（いわき市立江名小学校教諭） 講師2：新田 紳弥氏（福島県立猪苗代高等学校教諭）</p> <p>○研究協議会</p>

	<p>講師</p> <p>鈴木 砂代子氏（福島県教育委員会高校教育課指導主事）</p> <p>富田 誠吾氏（いわき市立江名小学校教諭）</p> <p>新田 紳弥氏（福島県立猪苗代高等学校教諭）</p> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>
--	--

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村、企業やNPO等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援した。</p> <p>(1) 職員派遣 派遣回数： 5回（参加者数：212名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣 派遣回数：11回（参加者数：601名）</p>

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修</p> <p>開催日：令和元年6月7日（金）</p> <p>参加者：24名（21市町村23名、1地方振興局1名）</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基調講義「男女共同参画社会って何？」 講 師：千葉 悦子（男女共生センター館長） ○県の取組等 講 師：遠藤 涉氏（県生活環境部男女共生課主事） ○福島県男女共生センター事業紹介 担 当：センター職員 ○講話「男女ともに輝く働きやすい環境づくりへ」 講 師：星野 雅子氏（株式会社 Miyabi 代表取締役社長、女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師） ○グループトーク 内容：女性活躍推進のための事業実施に役立つ話し合い 等 担当：星野 雅子氏 <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議</p> <p>開催日：令和2年2月7日（金）</p> <p>参加者：29名（25市町村26名、県振興局1名、午後の部のみ参</p>

	<p style="text-align: center;">加2名)</p> <p>内 容：</p> <p>○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：遠藤 渉氏（県生活環境部男女共生課主事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村男女共同参画プラン策定状況 ・令和元年度事業報告、令和2年度事業計画 等 <p>○福島県男女共生センターからのお知らせ 担 当：センター職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告、令和2年度事業計画 等 <p>○事例紹介等 テーマ：「女性起業家を支える取組」 講 師：重巢 敦子氏（キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社代表取締役、東北起業女性応援ネットワーク事務局）</p> <p>○シンポジウム テーマ：「多様性の視点での復興・まちづくり活動」 出演者： 鈴木 みなみ氏（一般社団法人とみおかプラス復興支援員） 中鉢 博之氏（NPO 法人ビーンズふくしま常務理事 事務局長） 佐藤 宏美氏（一般社団法人 GDM ふくしま代表理事） ※コーディネーター：センター職員 内容：復興やまちづくり活動をしている方を招いて、震災後約9年が経過しての活動の現状や課題、多様性に配慮したまちづくりなどについての発表、意見交換等を行った。</p> <p>※（１）、（２）とも福島県との共同主催。</p>
--	--

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>（１）男女共同参画の視点からの防災研修 「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」（内閣府男女共同参画局作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行った。</p> <p>講 師：坂田 静香氏（NPO 法人男女共同参画おおた理事長） 開催日：令和元年10月3日（木） 参加者：26名</p> <p>※研修カリキュラムは、以下のとおり。</p> <p>【セッション1】座学 災害に強い地域社会づくりのため、政策・方針決定過程への女性の参画や男女共同参画視点が不可欠であることを学んだ。（市町村地域</p>

	<p>防災計画に男女共同参画の視点導入の必要性について触れる内容等を含む)</p> <p>【セッション2】グループワーク 被災時の課題を記したシチュエーションシートを用いてグループで話し合った。</p> <p>【セッション3】グループワーク 男女共同参画視点からの防災について、行政における現在の課題や解決策を話し合った。</p> <p>【まとめ】 研修内容に触れながら男女共同参画視点の重要性を確認、振り返りの意見交換やアンケート記入を行った。</p> <p>(2) 多様性配慮の視点での防災・減災 地域防災組織等メンバーを対象として、男女共同参画及び多様性配慮の視点による防災ワークショップ等を行った。</p> <p>開催日：令和2年1月27日(月) 会 場：須賀川市役所 参加者：11名 担 当：センター職員</p>
事業名	再生・復興女性リーダー育成事業 ※新規
対象者	復興やコミュニティづくりの活動を行っている女性(男性も参加可)
内 容	<p>復興のあらゆる場や組織への女性の参画拡大を図るため、地域において福島の再生・復興を担う女性のスキルアップを図る研修を実施した。</p> <p>※同一内容を2会場で実施</p> <p>開催日：(1) 令和元年8月1日(木) (2) 令和元年8月8日(木)</p> <p>会 場：(1) いわき市男女共同参画センター (2) 福島県男女共生センター 第2研修室</p> <p>参加者：36名(①21名、②15名)</p> <p>講 師：中川 浩子氏(臨床心理士、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会理事)</p> <p>内 容：被災者のコミュニティ形成支援に役立つ、自分と相手を尊重しつつ、自分の意思をうまく伝えるコミュニケーションスキルアップを図るグループワーク等を行った。</p>
事業名	未来館 WLB・女性活躍サポート事業 ※自主
対象者	<p>(1) 健康づくりに関心のある県民</p> <p>(2) 起業及びセミナー等講師を始めたい女性</p>

内 容	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講座を開催した。また、起業したい女性やセミナー等講師として活躍したい女性の支援を行った。</p> <p>(1) 未来館“きらり”講座「カラダのバランス改善！ヨガ講座」</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの推進に資する健康づくりのため、全5回のヨガ講座を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第Ⅰ期：令和元年5月8日～6月5日の毎週水曜日 ・第Ⅱ期：令和元年10月23日～11月20日の毎週水曜日 <p>参加者：21名（第Ⅰ期9名、第Ⅱ期12名）</p> <p>講師：長山 のり子氏（ヨガインストラクター）</p> <p>(2) 講師デビュー支援事業</p> <p>起業及びセミナー等講師を始めたい女性が主催するセミナー等について、センター会場の提供、広報の協力、セミナーの運営協力を行った。</p> <p>採用件数：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ゆかた着つけ講座」 ②「マザーズコーチング講座」
-----	--

事業名	男性・子どもの生活自立支援事業 ※自主
対象者	働く母親を持つ父親と子ども（小学1～3年）
内 容	<p>父親と子どもが基本の調理スキルを身につけ、日常の食事がつくれるようになることをめざし、食事づくりワークショップを開催した。</p> <p>開催日：令和元年7月20日（土）</p> <p>参加者：8組（父親8名、子ども8名）</p> <p>内 容：食事づくりワークショップ「お父さんといっしょに食を考えよう」</p> <p>講 師：山際 博美氏（料理研究家、ふくしま応援シェフ）</p>

事業名	避難地域の復興を支える女性の活躍推進事業
対象者	避難地域で活動していた女性、帰還して活動している女性、避難先で活動している女性、NPO等で避難者を支援している女性 等
内 容	<p>避難地域の復興と再生を進めるために活躍する女性リーダー育成やネットワーク形成を目的とした研修（全5回）を実施した。（なお、各回の内容等への助言、進行・ファシリテートをコーディネーターに依頼して実施した。）</p> <p>○コーディネーター ※所属等は依頼当時</p> <p>北村 育美氏（福島大学食農学類 ふくしま未来 食・農教育プログ</p>

ラム研究員)

(1) 第1回 学習

開催日：令和元年7月17日(水)

会場：「みんなの交流館 ならはCANVAS」

参加者：11名

内容：実践事例を学んだ。また、参加者同士の自己紹介等を行った。

①講演：「地域づくりに携わった実践事例から」

講師：NPO法人くらスタ(田村市復興応援隊)理事長

佐原 禅氏、同メンバー 松崎 亜美氏

②参加者自己紹介、意見交換等

(2) 第2回 企画

開催日：令和元年8月22日(木)

会場：「みんなの交流館 ならはCANVAS」

参加者：7名

内容：3班に分かれて次回で訪問する候補団体の取組内容等をインターネットで情報収集して検討した。

(3) 第3回 スタディツアー

開催日：令和元年10月30日(水)、31日(木)※1泊2日

視察先：

①「一般社団法人ウィーアーワン北上」(宮城県石巻市)

②「特定非営利活動法人ウィメンズアイ」(宮城県本吉郡南三陸町)

③「一般社団法人SUMICA」(岩手県気仙郡住田町)

※①・②は30日、③は31日に訪問

参加者：7名

内容：「スタディツアー」を実施し、訪問先団体との意見交換や交流を深めた。

(4) 第4回 振り返り

開催日：令和元年11月14日(木)

会場：「みんなの交流館 ならはCANVAS」

参加者：8名

内容：前回「スタディツアー」での成果の共有等を行い、報告会に向けた準備(パワーポイントスライド作成)を行った。

(5) 第5回 報告会

開催日：令和元年12月11日(水)

会場：「みんなの交流館 ならはCANVAS」

参加者：11名

内容：現地視察及びこれまでグループワーク等の成果についての報告会を行った。

※コメンテーター：佐原 禅氏、松崎 亜美氏(第1回講師)

ウ 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行った。 相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談 相談方法：電話・面接 相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名 相談件数：1, 346件

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行った。 相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 14件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」 （月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 9件 相談方法：面接（予約制） 相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性等
内 容	内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。 相談方法：電話・面接 相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員） ※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置 相談件数：1, 473件

	内職あっせん者数：240名
--	---------------

エ 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施 初級介護講座、認知症介護セミナー、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修、各種イベント等への参加（高齢者疑似体験・車イス体験等） 実施講座数：53回、53日 参加者数：1,742名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象） 地域アセスメント研修、企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具研修、住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修 実施講座数：16回、28日 参加者数：402名</p> <p>(3) 介護セミナー（介護の日記念フォーラム2019） 開催日：令和2年11月30日（土） 参加者数：240名 内容： ①映画上映「ピア～まちをつなぐもの～」 ②「介護」に関する県民参加企画 運営協力：一般社団法人福島県介護福祉士会、福島県福祉人材センター ア：介護なんでも相談！…介護福祉士による実技アドバイス イ：介護福祉士によるハンドケア体験 ウ：福祉・介護のお仕事相談 エ：福祉機器・介護支援ロボットの体験</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催 令和元年12月12日（木）</p>

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。</p> <p>来所者数：3,707名</p> <p>相談件数：348件（相談内容件数348件）</p> <p>相談内容：移動機器（68件）、パーソナルケア関連（76件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催</p> <p>福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。</p> <p>令和元年12月12日（木）</p>

(4) 交流関連事業

ア 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館フェスティバル
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館フェスティバルを開催した。</p> <p>開催日：令和元年9月7日（土）・8日（日）</p> <p>参加者：延べ6,258名</p> <p>内 容</p> <p>(1) シンボルイベント（7日）</p> <p>内 容：講演「なりたい自分になる生き方～スポーツから学んだ大切なこと～」</p> <p>講 師：山口 香氏（ソウルオリンピック女子柔道銅メダリスト、筑波大学体育系教授）</p> <p>参加者：272名</p> <p>(2) 未来館ネットワークカフェ（7日）</p>

	<p>内 容：県内の団体、自治体職員等による情報交換、交流 参加者：40名</p> <p>(3) 県民参加企画（7日） 内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等 出展数：40企画</p> <p>(4) 認知症介護セミナー（8日） ※福島県社会福祉協議会主催</p> <p>(5) イベント、センター自主企画等（7日）</p>
--	---

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内で土木・建設を学んでいる女子学生
内 容	<p>若者世代を対象として、ライフステージごとの生き方、女性が継続して働くことなど、男女共同参画や女性の活躍推進のテーマ等での学習や参加者同士の交流を図る機会を提供した。</p> <p>(1) 「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」 内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、また、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や、学生同士のネットワークづくりを行った。</p> <p>①会津会場 開催日：令和元年7月19日（金） 会 場：福島県立会津工業高等学校 参加者：18名</p> <p>②いわき会場 開催日：令和元年11月18日（月） 会 場：福島県立勿来工業高等学校 参加者：40名</p> <p>③郡山会場 開催日：令和元年11月20日（水） 会 場：福島県立郡山北工業高等学校 参加者：15名</p> <p>(2) 「ライフキャリアセミナー」 ①男女共同参画関連データやセンターの取組から考える 開催日：令和元年6月20日（木） 会 場：福島大学 参加者：18名 講 師：センター職員 内 容：男女共同参画の各データやグラフ、当センターの役割や事</p>

	<p>業等の説明を行い、また、学生に身近なテーマでの意見交換等を行った。</p> <p>※福島大学との連携事業（行政政策学類「現代社会論」への出講）</p> <p>②男女共同参画の視点によるキャリア教育</p> <p>開催日：令和元年12月6日（金）</p> <p>会 場：福島県立福島南高等学校</p> <p>参加者：77名</p> <p>講 師：吉高神 明氏（放送大学福島学習センター客員教授、福島大学経済経営学類教授）</p> <p>内 容：労働者の権利やリーガルリテラシー、セクシュアルマイノリティ理解等、これから働く上で参考となるテーマでの授業を行った。</p> <p>※放送大学福島学習センターとの連携事業</p>
--	---

事業名	民間団体支援事業 ※新規
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行った。</p> <p>採択件数：2件</p> <p>採択企画（団体）：</p> <p>①県北転入女性対象「WELCOME ワークショップ」 （bel*fonte（ベルフォンテ））</p> <p>②女性行政書士による女性のための無料相談会 （福島県行政書士会）</p>